


TERAKOYA SENDAI No. 138

令和二年

1月29日 水 18:00-20:00

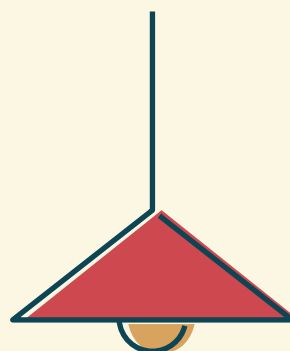
会場 / 仙台市産業振興事業団 参加費 / 1,000円(税込) 定員 / 40名

カラーレンズによる最適化

光過敏症と色弱の
こどもたち 

今回のセミナーでは、日本人の約10%が生まれつき持つ視覚障害「光過敏症・色弱」についてお話します。人間の情報処理の内70%は視覚情報だと言われる中、人の目における光の三原色（赤・青・緑）の感度は視力と同様に個人差があります。最近話題となった、生まれて初めて見えた色に涙を流す色覚障害の少年のように、適切なカラーレンズの使用により学習障害等の原因となる光過敏症や色弱は大きく改善されます。視覚機能の測定は従来経験則に基づく方法でしたが、講師の矢野氏が視覚機能を定量的に可視化する新しい方法を考案しました。

視覚障害の子どもたちのために何ができるか一緒に考えてみませんか？



Profile

東北大学 名誉教授 矢野 雅文 氏

東北大学名誉教授、元東北大学電気通信研究所所長。1974年九州大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学、東京大学薬学部助手、助教授を経て1992年東北大学電気通信研究所教授、薬学博士（東京大学）。専門は生命情報学、適応脳科学。著書に「移動知一適応行動生成のメカニズム（共同編集）」2010年（オーム社）、「日本を変える」2012年（文化科学高等研究院出版局）、「特集：矢野雅文の述語的科学論（季刊 iichiko 2018年 No.139号）」2018年（文化科学高等研究院出版局）で「人間はどのようにして考えるのか」、「脳科学とAI」についての科学論を展開。



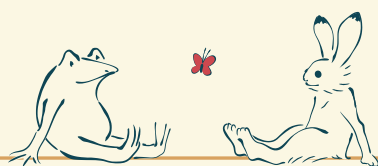
お申し込み方法はうら面へ！

| 主催 | 公益財団法人仙台市産業振興事業団



寺子屋せんだいとは

技術者に向けたサロン形式のセミナーです。各分野の最前線を走る先生方がテーマに沿って分かりやすくお話しします。講演後は講師の先生を交えた交流会を実施します。大学と企業のネットワークづくりや新たな事業の創出、技術改良のヒントにしてみませんか。ぜひお気軽にご参加ください。



お申し込み方法

ホームページの申込みフォームにてお申し込みください。または下記内容を明記の上、メールかFAXにてお申し込みください。

〈件名〉「第138回寺子屋せんだい申込み」

〈1〉氏名 〈2〉所属団体名 〈3〉部署（役職）

〈4〉電話番号 〈5〉メールアドレス

〈HP〉 <https://www.siip.city.sendai.jp>

〈E-mail〉 keieishien@siip.city.sendai.jp

〈FAX〉 022-715-8205

技術的なお悩み、ご相談ください

仙台市地域連携フェローによる御用聞き型企業訪問をはじめ、大学等との連携により、地域企業が抱える技術的な課題の解決を支援しています。お気軽にお問い合わせください。

仙台市地域連携フェローのご紹介

堀切川 一男 東北大学大学院工学研究科 教授（トライボロジー：摩擦・磨耗・潤滑に関する総合科学技術分野）

熊谷 正朗 東北学院大学工学部 教授（メカトロニクス、ロボット工学）

毛利 哲 宮城大学食産業学群 准教授（食品科学、食品分析学、食品加工、保蔵学）

坂手 勇次 東北工業大学ライフデザイン学部 教授（デザインマーケティング）

荘司 弘樹 東北大学電気通信研究所 特任教授（電気・通信・電子・情報）

お問い合わせ

公益財団法人 仙台市産業振興事業団
〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階
TEL 022-724-1122（経営支援課 菊田・芳賀）



※ご記入いただいた個人情報は、受講者名簿の作成、受講および受講後のフォローに関するご連絡、当事業団および仙台市が実施する各事業の情報提供の目的のみに使用します。